

移動式簡易温湿度制御乾燥装置による乾燥法

福島県たばこ試験場
平成16年度成績概要

1 部門名

特用作物－タバコ－収穫・乾燥・調製
分類コード 06-01-24000000

2 担当者

吉田辰雄

3 要 旨

(1) 乾燥ハウス内環境要素と品質

- ア 粗水切り期間の管理は、色沢と適温頻度率、適湿頻度率及び平均温度との相関が高いことから、色沢向上のための管理法は、平均温度を下げ、適温頻度率を上げて、適湿頻度率を下げることである（機械乾燥では、夜間はハウスの妻を開放・日中は間けつ昇温排気によって平均温度が低下し、適湿頻度率も低下できる）。
- イ 黄褐変期間の管理は、熟度、色沢、組織ともに適温頻度率、適湿頻度率及び温度変異係数（いわゆる偏差スケール）との相関が高いことから、品質（熟度、色沢、組織）向上のための管理法は、温度変異係数を大きくし、適温頻度率及び適湿頻度率を下げることである（機械乾燥では、夜間はハウスの妻を解放、日中は間けつ昇温排気によって平均温度が低下し、適温頻度率及び適湿頻度率も低下できる）。

(2) 乾葉の品質

- ア 熟度は黄褐変期間で乾燥ハウスの環境要素との相関が高い。黄褐変乾燥時の乾燥ハウス内環境では、適湿頻度率と平均温度で有意差がみられ、機械乾燥では熟度が低下すると判断される。
- イ 組織と熟度及び組織と色沢は正の相関であった。熟度と色沢は無相関であった。葉肉は乾燥処理による差はなく評価が5.0と中肉で良好であった。

4 その他の資料等

なし